

目標達成計画

作成日：平成31年 4月 15日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	災害時に備え、日ごろから地域の方と話し合い、ホームの事を理解して頂いたり、反対に地域の情報も知っておく必要があるのではないか。お互いに連携し協力しあえる体制をとっておこう。	災害に対する意識を高め、平日頃から地域と連携を取り速やかに避難できる体制を整えておこう。	避難訓練、救命講習には消防署の指導を受けながら行っているが、自治会、民生委員、近隣の方々に声をかけ一緒に訓練を行う機会をつくる。地域包括や同業の他施設とも連携し、災害時の避難場所の確保、オムツや寝具類の協力体制等を整える。運営推進会議などの機会に話し、情報を共有する。	12ヶ月
2	18	家族会の話し合いの中で、家族様側から、行事や環境整備など、出来るところは協力頂けるとの提案があった。誕生会などのお誘いは毎月の月次報告書にてお知らせし、定着しつつあるが、環境整備などはなかなか、声をかけられずにいた。	家族様と共に本人を支えると言う意味で、 ・行事やレクリエーションに参加可能な方は一緒に楽しんで頂こう。 ・ホーム内の環境整備(草取り・大掃除等)を職員と一緒に頂けるようお願いしてみよう。 家族様も交えて共に活動の機会を増やしていこう。	行事などは早めにお伝えすることで、予定に入れて頂き、毎年のごとして思ってもらえるとありがたい。誕生会は大いぶ定着はしてきたが、毎月の月次報告書でお知らせし参加頂く。	12ヶ月
3	13	毎日の業務の中で、スタッフは個々に仕事に取り組んでいるが、利用者様に十分満足して頂いているだろうか。スタッフ同士の連携がうまくできていなかったり、スムーズに業務が進んで行かない時があったりする。スタッフ全員が同じ方向に向かっていないのではないか。基本的なことを忘れてはいないだろうか。	スタッフ一人ひとりが向上し、仕事に対してやりがいを感じられる環境作りをしよう。	毎月、勉強会を行っているが、外部の研修に参加したり、専門の講師を迎えての勉強会などを開き、個々の資質の向上と介護にやりがいを見出す。スタッフ同士が日ごろからコミュニケーションを図り、お互いに仕事に対する取組みや考え方を話せる関係を築く。些細なことでも相談しやすい環境をつくる。	12ヶ月
4	6	利用者様の重度化により改めて検討した中で、身体拘束と事故防止との関係性をさらに理解する必要がある。ヒヤリハットの提出が少ない。	身体拘束をしないで、事故を防ぐにはどのようにしたらよいか？常に危険と隣り合わせにあることを意識し、スタッフ同士の情報の共有、福祉用具の活用、等等、その時々適切な判断ができるよう努めよう。	身体拘束と事故防止との関係性、ヒヤリハット報告の共有、福祉用具の活用等、職員が外部の研修に行ったり、事業所内での勉強会を行うことで、職員全員で考え、取り組んでいきたい。研修を受けたスタッフは勉強会として報告をする。	12ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。